

# 災害に強いまちづくりを推進する

## ➤ 目指す姿

- 想定される災害への備えができており、市民の生命、身体及び財産が守られています。また、防災意識の高まりとともに、地域における支え合いの精神が根付いており、災害に対する不安や心配がなく、穏やかに日常生活を送っています。

## ➤ 現 状

- 近年、気候変動<sup>※1</sup>の影響による自然災害が激甚化・頻発化し、浸水被害も発生しています。
- 自然災害に対する市民の防災・減災意識が高まっています。
- 自主防災組織<sup>※2</sup>の結成率は100%となっています。
- 災害発生時の物資調達や応急復旧活動等に関する協定を様々な事業者と締結しています。

※1 地球の気温や気象パターンが長期にわたり変化すること。地球の平均気温が上昇する地球温暖化については、化石燃料の燃焼による人為的要因に疑う余地がないとされている。

※2 災害による被害の予防や軽減を目的に、防災訓練などの自主的な活動を行う組織で、自治会等を単位に各地域で結成されているもの。

## ➤ 課 題

- 自助・共助・公助<sup>※1</sup>の役割をそれぞれの立場で担い、防災・減災への対応力を高める必要があります。
- 大規模地震や集中豪雨などの発生時に、市民生活に欠かせないインフラ<sup>※2</sup>や住居等の被害を最小限に抑える必要があります。

※1 自助は、自分の身を自分で守ること、共助は、地域や近隣の人などが互いに協力し合うこと、公助は、国や県、市町村等の行政、消防機関による救助・救援などのこと。

※2 下水道や道路など産業や生活の基盤として整備される施設のこと。



重点戦略1

重点戦略2

重点戦略3

重点戦略4

分野1

分野2

分野3

分野4

分野5

## 取組方針

- 関係機関等と連携し、実践的な防災訓練の実施や防災・減災意識の啓発に取り組みます。
- 避難所に滞在する被災者の避難生活環境の確保に向けた取組を進めます。
- 橋りょうや下水道などの耐震化を計画的に進めます。
- 河川管理者等と連携し、公助・自助を組み合わせたハード・ソフト両面からの流域治水<sup>※1</sup>をはじめとする総合的な浸水対策を継続的に進めます。
- 旧耐震基準による建物の耐震化等を促進します。

### 【デジタル化・脱炭素化の主な取組】

- ◇デジタル技術を活用した災害情報の収集・共有・発信
- ◇再生可能エネルギー等を活用した非常用電源の確保

※1 水害の激甚化・頻発化に備え、国・県・市町村や企業、住民など、河川流域に関わる関係者が協働して流域全体で行う治水対策のこと。

## 成果指標

指標名	策定時実績値	方向性（目標値） （2027）	方向性（目標値） （2031）
防災訓練実施団体数	359 団体	380 団体	400 団体
市が所管する避難所におけるマンホールトイレ <sup>★1</sup> の設置箇所数	4 箇所	24 箇所	44 箇所
公共下水道ポンプ場の耐水化進捗率	—	75%	100%

★1 下水道管路に接続する排水管上部のマンホールに便器を設置し、下流側の貯留槽に、し尿をため込む機能を有する設備で、下水道本管や下水処理施設が被災した場合でも、一定期間水洗トイレと同様の環境で使用するができるもの。

# 消防・救急体制を強化する

## ➤ 目指す姿

- 消防・救急体制が充実し、迅速かつ的確な対応への信頼感が高まっており、安心感に包まれながら、穏やかに日常生活を送っています。

## ➤ 現 状

- 大規模災害の発生や新たな感染症のまん延が懸念されます。
- 高齢者や障がい者など、災害時に配慮が必要な方が増加しています。
- 高齢化の進行や単身世帯の増加などに伴い救急搬送件数が増加している一方、救急搬送時間は全国平均と比べて短くなっています。
- 県指定の救命救急センターである市民病院では、救急搬送件数が増加する中でも、高い応需率を維持しています。

## ➤ 課 題

- 多種多様化する災害に、的確に対応できる消防力や地域防災力の強化が必要です。
- 誰もが迅速かつ適切に、救急医療を受けられる体制の維持が必要です。



重点戦略1

重点戦略2

重点戦略3

重点戦略4

分野1

分野2

分野3

分野4

分野5

## 取組方針

- 消防・救急業務の高度化に取り組むとともに、消防車両の更新や消防庁舎の再整備を計画的に進めます。
- 消防団への支援を継続するとともに、国・県・近隣自治体との連携協力体制を更に強化します。
- 救急搬送される患者を積極的に受け入れるとともに、新たな感染症のまん延に備え、院内体制の充実強化を図ります。

### 【デジタル化・脱炭素化の主な取組】

- ◇デジタル技術を活用した消防・救急活動における初動対応や情報連携の推進
- ◇消防庁舎における再生可能エネルギーの利用と省エネの取組推進

## 成果指標

指標名	策定時実績値	方向性（目標値） （2027）	方向性（目標値） （2031）
火災出火件数	61件	↓	↓
救急搬送時間★1	30分58秒	30分30秒	30分00秒
消防団の訓練等実施回数	439回	↑	↑

★1 救急活動における119番通報から病院収容までの平均所要時間のこと。

# 日常生活の安心・安全を高める

## ➤ 目指す姿

- 犯罪、消費者被害<sup>※1</sup>、交通事故が減少しており、住民同士が気軽に挨拶を交わし合い、和やかな雰囲気の中で、安心して穏やかに日常生活を送っています。

※1 消費者が事業者と契約をするとき、両者の持っている情報の質・量や交渉力に格差があることを利用して、消費者に対し一方的に不利な契約や取引がなされること。

## ➤ 現 状

- 刑法犯認知件数<sup>※1</sup>は減少傾向にあるものの、依然として窃盗犯の割合が高く、特殊詐欺<sup>※2</sup>被害は件数、被害額ともに増加しています。
- デジタル化の進展に伴い、若い世代の消費者被害が増加するとともに、高齢者をターゲットとした悪質商法が発生しています。
- 高齢者や自転車利用者による交通事故が多数発生しています。

※1 窃盗、暴行、傷害、詐欺等の犯罪の発生を警察が認知した件数のこと。

※2 犯人が電話等で親族等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、犯人の口座に送金させたりする犯罪のこと。

## ➤ 課 題

- 地域における犯罪や消費者被害を未然に防止する必要があります。
- 高齢者や自転車利用者の交通事故を抑制する必要があります。



重点戦略1

重点戦略2

重点戦略3

重点戦略4

分野1

分野2

分野3

分野4

分野5

## 取組方針

- 関係機関等と連携した防犯活動を実施するとともに、防犯設備の計画的・効果的な設置・維持管理を進めます。
- 地域における防犯活動や防犯機器の導入を支援します。
- 消費者知識の習得・向上に向けた取組を推進します。
- 高齢者や自転車利用者を中心に、幅広い年代を対象にした交通安全の啓発活動に取り組みます。

### 【デジタル化・脱炭素化の主な取組】

- ◇ICT<sup>※1</sup>を活用した防犯カメラによる警察への迅速な情報提供
- ◇デジタルコンテンツ<sup>※2</sup>を活用した交通安全意識の向上
- ◇防犯設備における省エネの取組推進
- ◇エシカル消費<sup>※3</sup>の推進

※1 インターネットなどを活用してコミュニケーションができる情報通信技術のこと。

※2 デジタルデータとして共有されているコンテンツのことで、インターネットなどを通して配信・共有される情報のこと。

※3 人や社会、地域、環境に配慮した商品やサービスを選び、購入・利用すること。

## 成果指標

指標名	策定時実績値	方向性（目標値） （2027）	方向性（目標値） （2031）
刑法犯認知件数	1,227 件	↓	↓
消費生活出前講座 <sup>★1</sup> 等の参加者数	884 人	1,000 人	1,100 人
交通事故死亡者数	4 人	↓	↓

★1 悪質商法や買い物トラブルの最新情報と対処法について、地域等に出向き説明する講座のこと。

# まちづくりの拠点形成を推進する

## ➤ 目指す姿

- 平塚駅周辺地区はリビングのような誰もがお気に入りの空間や体験を見つけることができるまちづくりが進み、ツインシティ大神地区が県の南のゲートになるよう成長していくとともに、西部地域は自然環境と調和した地域づくりが進み、それぞれが連携した拠点となっています。

## ➤ 現 状

- 平塚駅周辺地区は、建物や都市基盤の老朽化が進行しています。
- 平塚駅北口から西へ向かう歩行者交通量の減少などにより、にぎわいが低下しつつあります。
- 平塚駅周辺地区の将来像を示す構想の策定とその実現に向けた取組を進めています。
- ツインシティ大神地区で、環境共生都市に向けたまちづくりが進んでいます。
- 西部地域は、貴重な自然が残っていると同時に、住民主体による地域の活性化に向けた活動が進んでいます。

## ➤ 課 題

- 平塚駅周辺地区で、人が集まり居心地の良いまちにする必要があります。
- ツインシティ大神地区で、交通の拠点としての価値などを高める必要があります。
- 西部地域が持つ地域資源を活かしながら地域の活性化を更に進める必要があります。





重点戦略1

重点戦略2

重点戦略3

重点戦略4

分野1

分野2

分野3

分野4

分野5

## 取組方針

- 平塚駅周辺地区で、官民が連携したまちづくりを進めます。
- ツインシティ大神地区で、土地区画整理組合などとの連携による、環境に配慮した住宅街区の整備を進めます。
- （仮称）ツインシティ橋<sup>※1</sup>や道路2軸（平塚愛甲石田軸及び伊勢原大神軸）の整備要望と新幹線新駅の誘致活動に取り組みます。
- 交通ネットワーク<sup>※2</sup>の強化に向け、連節バス<sup>※3</sup>の導入について関係機関と協議を進めます。
- 地域住民や研究機関などとの連携による自然活動や農を活かした取組を推進するとともに、大規模施設の跡地においては、周辺環境との調和に努めながら、土地利用を図ります。

### 【デジタル化・脱炭素化の主な取組】

◇ツインシティ大神地区における再生可能エネルギーの活用や緑化の推進

- ※1 都市計画道路倉見大神線の一部で、寒川町倉見地区と相模川対岸の平塚市大神地区とをつなぐ橋のこと。
- ※2 鉄道、路線バスや道路などにより日常・社会生活の確保、地域間の交流が形成されるネットワークのこと。
- ※3 大量輸送のために車体が2連以上につながっているバスのこと。

## 成果指標

指標名	策定時実績値	方向性（目標値） （2027）	方向性（目標値） （2031）
平塚駅周辺における共同建て替えの相談件数【累計】	—	4件	8件
ツインシティ大神地区土地区画整理事業の進捗率	75%	100%	100%
西部地域における地区まちづくり協議会との意見交換の実施回数	6回	6回	6回



# 交通の利便性・快適性を高める

## ➤ 目指す姿

- 交通インフラ<sup>※1</sup>が充実するとともに、どこへ行くにも円滑で快適な移動が実現し、買い物をする人や友達と会う人など、それぞれが不便を感じることなく目的地までたどり着いています。

※1 道路や路線バスなど交通に関連した産業や生活の基盤として整備される施設のこと。

## ➤ 現 状

- 平塚駅を中心に放射状のバス路線が多くある一方、東西方向の移動は平塚駅を経由していません。
- 主に郊外部では、運行本数の少ないことやバス停までの距離が遠いことなどにより、公共交通が不便と感じている人の割合が高くなっています。
- 通勤通学の時間帯を中心に、交通集中による混雑が発生しています。
- 平塚駅から約3km圏内では、自転車の利用が多く、利用目的の約9割が通勤・通学となっています。

## ➤ 課 題

- 公共交通を利用しやすい環境を整える必要があります。
- 交通空白地域<sup>※1</sup>や交通不便地域<sup>※2</sup>の解消に加え、公共交通を維持する必要があります。
- 交通の円滑化と住環境の向上に加え、歩行者の安全を確保する必要があります。
- 自転車の安全な通行空間とその連続性を確保する必要があります。

※1 バス停までの距離325m（徒歩で約5分以内）に含まれない地域のこと。

※2 交通空白地域ではないが、バス運行本数の少ない（運行間隔が概ね1時間に1便未満）地域のこと。



重点戦略1

重点戦略2

重点戦略3

重点戦略4

分野1

分野2

分野3

分野4

分野5

## 取組方針

- バス停の待合環境やサイクル&バスライド<sup>※1</sup>の整備をします。
- 持続可能な公共交通と地域の特性に合わせた移動手段を確保します。
- 幹線道路<sup>※2</sup>の交差点や歩道などを整備します。
- 利用者に分かりやすい自転車の走行環境向上に取り組みます。

### 【デジタル化・脱炭素化の主な取組】

- ◇二酸化炭素排出量の削減に向けた自転車と路線バスの活用
- ◇電気バスの導入支援と再生可能エネルギーの利用促進

※1 市街地の外縁部において自転車利用からバス利用へ誘導させるため、バス停の付近に自転車駐車を整備するなどにより、バス利用者の利便性を向上させる施策のこと。

※2 国道や県道に接続する市民の生活上重要な道路や、地域住民の生活上特に重要な道路のこと。

## 成果指標

指標名	策定時実績値	方向性（目標値） （2027）	方向性（目標値） （2031）
自動運転バスの運行路線数 【累計】	—	1路線	2路線
幹線道路における交差点や歩道の 整備箇所数【累計】	—	2箇所	5箇所
平塚駅3km圏の自転車ネットワ ーク整備率	49%	100%	100%

# 快適な生活基盤の形成を推進する

## ➤ 目指す姿

- 安心・安全で暮らしやすくなるおいのあるコンパクト・プラス・ネットワーク<sup>※1</sup>のまちづくりのもと、良好なインフラ<sup>※2</sup>が整い、生活に必要な機能が充実しているため、病院に行きたい人や買い物をする人たちが公共交通などを利用して、快適な生活を送ることができています。

※1 医療・商業施設など日常生活に必要な施設が歩いて行ける範囲にまとまった拠点を地域ごとに形成し、各拠点に公共交通などで誰もが簡単にアクセスすることができる都市構造のこと。

※2 下水道や道路など産業や生活の基盤として整備される施設のこと。

## ➤ 現 状

- 平塚駅周辺地区等の一部地域に生活利便施設<sup>※1</sup>等が集積されています。また、市街地などで洪水や内水等の災害リスクがあります。
- コンパクト・プラス・ネットワークの形成に向けた計画の策定を進めています。
- 平塚駅周辺地区などでマンション建設が進む一方、市全域で空家等が増加傾向にあります。
- 道路や下水道などのインフラは、老朽化が進行し、更新時期の到来が集中します。
- 平塚駅周辺地区や幹線道路<sup>※2</sup>を中心にバリアフリー化<sup>※3</sup>が進んでいる一方、一般市道<sup>※4</sup>では段差やひび割れが生じています。
- 豊かな自然、歴史、暮らしなど様々な景観が各所に点在しています。

※1 医療・商業施設など日常生活に必要な施設のこと。

※2 国道や県道に接続する市民の生活上重要な道路や、地域住民の生活上特に重要な道路のこと。

※3 高齢者や障がい者が社会生活を送るうえで、障壁となるものを取り去った生活空間のあり方に変えていくこと。

※4 幹線道路以外において主に地域住民が生活上利用している道路のこと。

## ➤ 課 題

- 日常生活の利便性・快適性を高めるとともに、災害リスクを低減する必要があります。
- 市街地ストック<sup>※1</sup>を利活用する必要があります。
- 道路や下水道などのインフラを計画的に管理する必要があります。
- 誰もが快適に移動できる一般市道を確保する必要があります。
- 地域の特性に応じた景観の魅力を、更に高めていく必要があります。

※1 有効に活用できる都市の資産である利活用可能な公共施設や空家などのこと。



重点戦略1

重点戦略2

重点戦略3

重点戦略4

分野1

分野2

分野3

分野4

分野5

## 取組方針

- 生活利便性や災害リスク等の地域特性を踏まえ、居住や都市機能の誘導を促進し、生活拠点の形成を進めるとともに、交通ネットワーク<sup>※1</sup>を充実します。
- 地域や関係団体と協働し、空家等の適正管理や利活用を進めます。
- 道路や下水道などのインフラで、予防保全型の長寿命化を進めます。
- 子育て世代や障がい者などの歩行者が、安全に通行できる道路や空間を整備します。
- 多様な景観特性を活かした、魅力的なまちなみの形成を進めます。

### 【デジタル化・脱炭素化の主な取組】

◇都市のデジタルインフラ<sup>※2</sup>整備やオープンデータ化<sup>※3</sup>

◇道路や下水道などのインフラにおける省エネの取組推進

※1 鉄道、路線バスや道路などにより日常・社会生活の確保、地域間の交流が形成されるネットワークのこと。

※2 インターネットをはじめとするコンピュータとネットワークを利用した技術基盤のこと。

※3 行政機関等が保有する公共データを機械判読に適したデータ形式、かつ誰もが二次利用を可能とするルールによって公開すること。

## 成果指標

指標名	策定時実績値	方向性（目標値） （2027）	方向性（目標値） （2031）
適正に管理されていない空家の解消率 <sup>★1</sup>	74.5%	↗	↗
橋りょうの長寿命化 <sup>★2</sup> 進捗率	61%	71%	80%
公共下水道管路（合流区域）の長寿命化進捗率	22%	35%	60%

★1 市から対応策を周知啓発した空家等のうち、適正に管理されていない状態の空家等が、解体、居住、是正対応等により解消した割合のこと。

★2 平塚市橋りょう長寿命化修繕計画に基づく部材の損傷や塗装などを修繕すること。

# 花とみどりにあふれる環境を充実する

## ➤ 目指す姿

- 咲き誇る花や豊かなみどりに囲まれ、爽やかな風吹く公園や水辺で、おしゃべりしながら散歩する人や、元気に遊ぶ子どもたちなどが、思い思いの時間を過ごしています。

## ➤ 現 状

- 多くの市民が丘陵地や海などの豊かな自然環境に魅力を感じています。
- 公園施設の老朽化等により、快適性が低下している公園があります。
- 市民が安全に公園を利用しています。
- 緑化推進や公園管理に携わる市民団体は、会員の減少や高齢化が進んでいます。

## ➤ 課 題

- 都市空間における公園・緑地のみどりを守り、質を高める必要があります。
- 豊かな自然環境の中で、うるおいと安らぎの場を享受できるようにする必要があります。
- 公園施設の適切な維持管理や、公園利用の満足度を高める必要があります。
- 市民主体の緑化活動や公園の手入れ等を進める必要があります。



重点戦略1

重点戦略2

重点戦略3

重点戦略4

分野1

分野2

分野3

分野4

分野5

## 取組方針

- 緑化意識の向上や啓発に取り組みます。
- 周辺の地域資源を活かすとともに、誰もが安心・安全に利用できる公園や緑地の整備・管理を計画的に進めます。
- 各公園において、にぎわいがあり、交流の場となるよう取り組みます。
- 緑化推進や公園管理に携わる市民団体同士の連携を強化するとともに、行政と協働し、より魅力的な活動を行います。

### 【デジタル化・脱炭素化の主な取組】

- ◇市民団体による緑化推進を中心とした意識の啓発
- ◇公園施設における再生可能エネルギーの利用と省エネの取組推進

## 成果指標

指標名	策定時実績値	方向性（目標値） （2027）	方向性（目標値） （2031）
花の名所の箇所数【累計】	12箇所	13箇所	14箇所
バリアフリー化を図った公園数【累計】	29箇所	33箇所	37箇所
市民団体★1による緑化推進や公園管理に携わる活動回数	3,888回	3,914回	3,940回

★1 公園愛護会や馬入花畑の会などの市民団体のこと。